

心身ともに健康で生き活きとした会社づくりを目指して

当社は放送のデジタル化以降、ケーブルテレビ業界のデジタル化を積極推進するために、日本版 HITS (JC-HITS) という事業構想を掲げ、2004年4月に衛星配信によるSD番組配信サービスを開始しました。その後、2006年3月に現主要株主等による会社の独立を果たし、データ放送 (JC-data) やHDサービス配信を開始、2011年3月には衛星から地上回線による番組配信ネットワークへの全面移行を行い、今やプラットフォーム事業者の1社として業界で必須な存在となりました。果敢に変化に対応できる精鋭集団であることは誇りであり、これまで皆さんが懸命に取り組んできた活動に敬意を表するとともに、感謝しております。

会社独立から10年が経過する今、会社を今後も継続的に成長させていくには、全国のお客様が抱える経営課題の解決に資するサービスを企画・考案し、他社に先駆けて提供していくことが重要です。そのためには皆さんの英知を結集し失敗を恐れずにチャレンジを続けていくことができるよう、皆さん一人一人が心身ともに健康で、より一層生き活きと働き続けられる職場環境づくりが不可欠です。これらの職場環境づくりにあたって、全ての皆さんが高い理想と夢を抱いて全社一丸となって取り組んでいきましょう。

私は、ここにあらためて当社の経営理念に掲げた、「みんなを笑顔にする」「人を大切にすること」といった経営トップの想いを、より具体的な形で「方針」として、宣言いたします。

1. 当社のお客様である日本全国のケーブルテレビ事業者、番組供給事業者と共に展開する「公共性の高い」放送サービスを支えていることを自負し、更にCS (顧客満足度) を向上していくためには、そのサービスを提供している当社社員のES (従業員満足度) も高めていく必要性を認識し、社内の風通しをよくしながら、会社と社員がともに成長できる環境づくりを行います。
2. 当社は社員が心身共に健康で安心して業務に打ち込めるため、より安全で快適な職場環境づくりを進めます。そのためには、単にストレスチェックの義務化の法改正への対応に止まらず、厚生労働省の推奨する「心の健康づくり計画」を策定し、ストレス対策やメンタルヘルス対策についても会社の最重要課題の一つと認識して進めてまいります。

2016年9月20日

代表取締役社長

大熊茂隆